

編集後記

第 30 回自由学園美術工芸教育発表会は、昨年秋の学園で盛会に行うことができました。節目の回として、自由学園の美術教育の全てを発表することを主眼に取り組みました。その報告をカラーページによる作品紹介と共にまとめました。昨年、会終了後深まり行く紅葉の樹木に、もっとがんばれと背中を押されたことを思い起こします。日々進化していく子ども達と一つ一つ大切に行う授業こそ宝だということを胸に、さらに取り組みでいきたいと思います。

初等部 山下 美紀

第 30 回美術工芸教育発表会での女子部の会場づくりは、女子部高等科 3 年生が中心になって下級生達と行った。大きなパネルの紙貼り、ドリルを使ったパネル立て、作品展示など力仕事も協力して自分達でやり遂げ、とても頼もしい力を出していた。作品制作だけでない学びの場があった。

女子部 星住リベカ

男子部では、昨年の美術工芸教育発表会において、普段の美術の授業で制作した作品だけではなく、数学や理科、音楽などの他教科とつながりを持った作品を展示しました。

今後も日常の学びの中で、様々な教科間でつながりのある学びを展開していきたいと思っています。

男子部 山縣 基

東日本大震災の被災地への学園と関連団体の「継続的」支援活動、オリジナル商品の開発、JIYU アフタースクール、那須気象データの統計モデルによる体系化など、学園と関連団体と地域に密着したテーマが取り上げられたり、受け継がれたり、充実した報告会になったと思います。このよい流れをステップ・アップして続けたいものです。

最高学部 五十嵐清文

2 日間にわたって行われた創立 90 周年自由学園美術工芸教育発表会はそれぞれの部の特徴を表す発表の場でした。今号はその記録を纏める大切な年報となりました。4 年間の作品には、生徒の生活の様子が投影されています。学園の環境と教育の織り成す空間の様子を少しでもお伝えすることができればと願っています。

世代を超えて守り、受け継がれ、未来を造るものが「教育」であることを確信し、21 世紀の新たな教育を創り、発信する学園であるため、学園にかかわる全ての方々と共に歩みを進めたいと思っています。

女子部 梶野ルミ子